



かみのせき 議会だより

2021
4/23

No.154



完成が待たれる新庁舎

令和3年3月定例議会

議案（当初予算・補正予算 条例の一部改正 他）	2～6ページ
一般質問	7～9ページ
議会活動報告 研修・要望・編集後記	10ページ

議案

令和3年第1回定例会は、3月9日から18日までの会期で開かれ、議案34件、報告3件、追加議案（議員提出議案）1件が上程され、原案のとおり可決、承認されました。

一般会計

令和3年度の予算編成では、これまでと同様に、町民の暮らしを守ることを基本に予算編成がなされ、歳入においては、国や県の補助金や交付金を積極的に活用し、起債についても財政措置が有利なものを充当し、財源確保をするとともに、歳出では経費削減、費用対効果や効率性を重視した予算編成となっています。

令和3年度当初予算の概要

一般会計 37億2,700万円 (前年度比 9.0% 減)

特別会計 18億8,351万7千円 (前年度比 3.3% 減)

歳入では、自主財源の根幹である町税が、所得の減少などにより減額、地方交付税は国勢調査の結果、人口減少で減額となるところですが、国の交付税の増額により昨年と同額を見込んで計上しております。不足する財源は基金から取りくずしており比率で見ると、^{※1}自主財源24.4%、^{※2}依存財源75.6%と苦しい予算編成となっています。

歳出の主なものは、人件費、扶助費、公債費の義務的経費^{※3}では、職員給の減額などにより

0.4%減の12億3760万2千円となっております。建設事業などの^{※4}投資的経費は、新庁舎関連事業などの減少により、24.1%減の11億215万9千円となり、前年に比べ減額予算となっています。

令和3年度 主要事業

民生・衛生

- ◆福祉優待バス乗車証交付事業
- ◆福祉医療費助成事業
(ふくさえあい基金)
- ◆子育て応援グッズ贈呈事業
- ◆保育園の副食費助成事業
- ◆インフルエンザ予防接種事業
(ふくさえあい基金)
- ◆新型コロナウイルス対策事業
- ◆祝島し尿運搬船整備事業

産業・土木

- ◆森林環境整備事業
- ◆農業水路等長寿命化防災減災事業
- ◆漁港建設事業
- ◆機能保全委託など

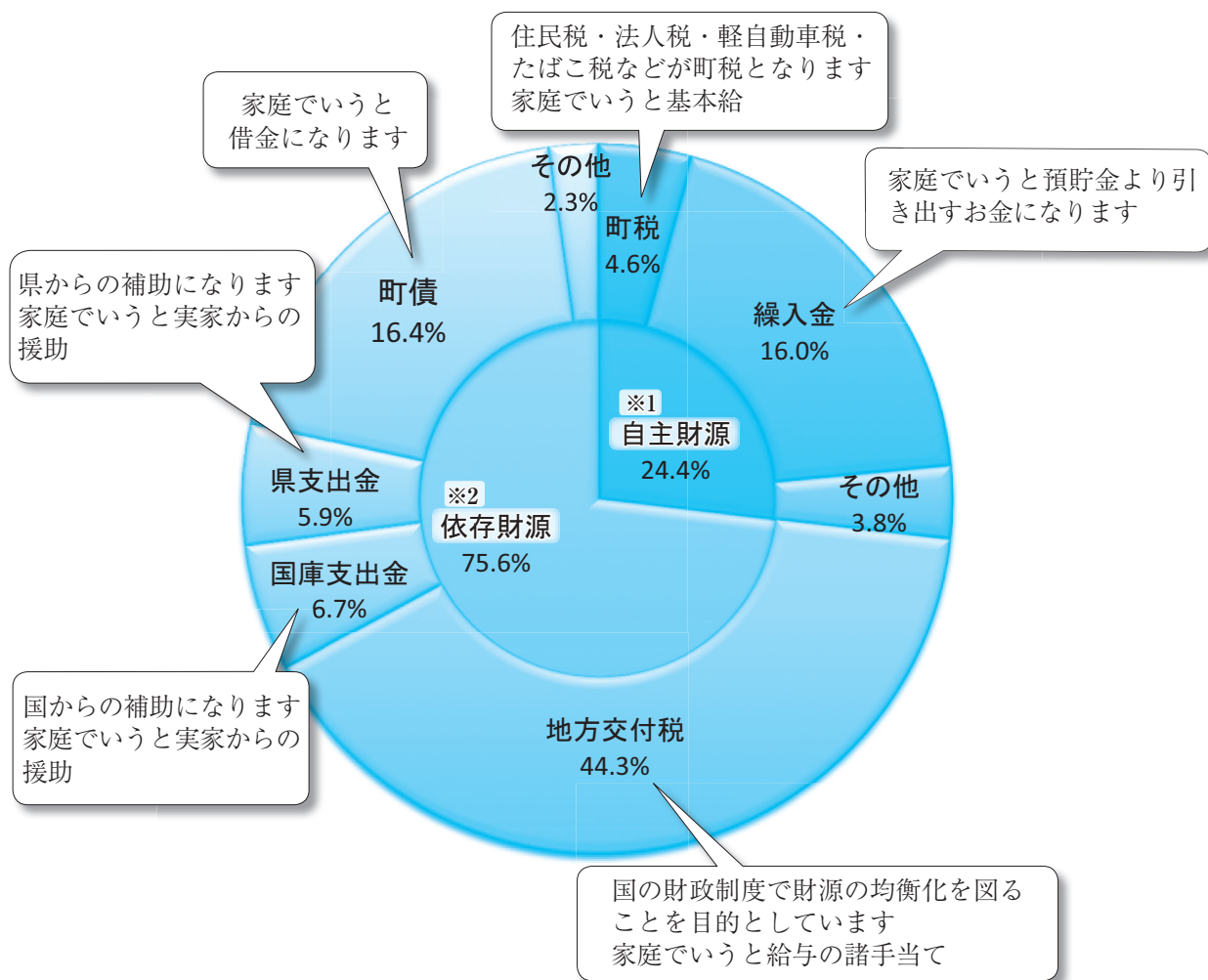
教育

- ◆町営バス運行事業
- ◆観光施設整備等事業
- ◆祝島航路待合所改良工事
- ◆花咲く海のまち推進事業
- ◆道路新設改良事業
- ◆町道惣津観音線道路改良工事
- ◆住宅建設事業
- ◆定住促進住宅建設工事
- ◆先進的な英語教育推進事業
- ◆高等学校生徒通学定期購入費助成
(ふくさえあい基金)
- ◆学校給食備品購入事業
- ◆地域協育ネット推進事業
(放課後子ども教室)
- ◆上関地区館建設事業
(今年度は解体と設計)

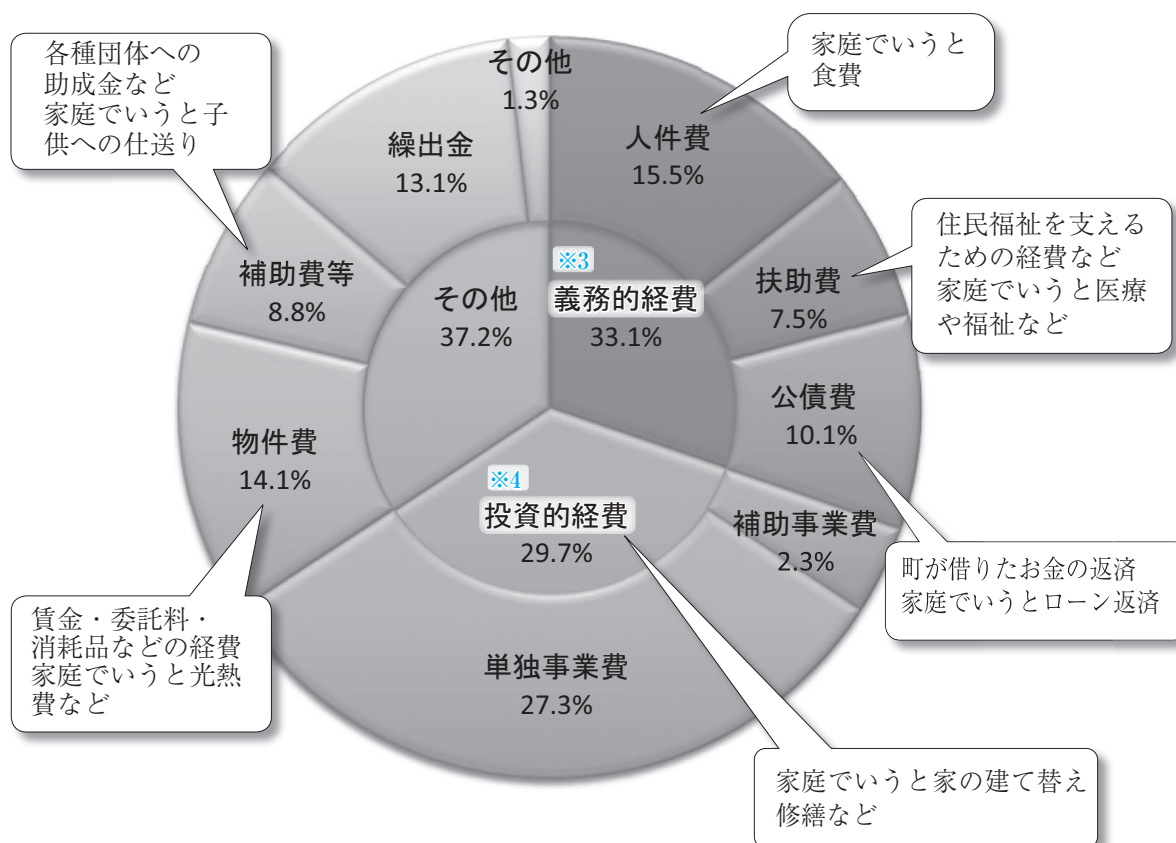
総務・企画

- ◆自治会組織等運営費助成
(ふくさえあい基金)
- ◆ふるさと納税の推進事業
- ◆移住支援金助成事業
- ◆地域おこし協力隊事業
- ◆新庁舎建設事業
- ◆災害時備蓄事業

一般会計歳入予算



一般会計歳出予算



特別会計

国民健康保険事業

前年度に比べ4.2%減の5億7866万5千円の計上です。

後期高齢者医療

広域連合への納付金の減などにより前年度に比べ0.4%減の7992万5千円の計上です。

介護保険

保険事業勘定は前年度に比べ5.3%減の5億8765万8千円の計上です。

介護サービスの事業勘定は前年度と同額の160万円の計上です。

診療所事業

診療報酬の減額などにより前年度に比べ11.2%減の6088万円の計上です。

へき地診療所事業

診療日数の増により前年度に比べ7.7%増の5603万3千円の計上です。

へき地歯科診療所事業

診療所運営費委託料の減により前年度に比べ10.7%減の3008万5千円の計上です。

簡易水道事業

前年度に比べ3.8%増の1億3969万1千円の計上です。

農業集落排水事業

前年度に比べ28.2%減の1221万円の計上です。

漁業集落排水事業

前年度に比べ3.3%増の1847万1千円の計上です。

航運事業

運航経費の増により1.7%増の3992万6千円の計上です。

風力発電事業

前年度とほぼ同額の2億2937万3千円の計上です。

用地取得事業

前年度と同額の5000万円の計上です。

令和2年度補正予算

一般会計

7億1119万5千円を減額し、予算総額を42億6488万9千円とする。

歳入の主なものは、町税、国庫支出金の増、県支出金、基金繰入金の減、不動産売却収入の増、町債の減です。

歳出では、新庁舎建設事業の減、新型コロナウイルスのワクチン接種のための事業費の増、漁港建設費、道路橋梁費、消費費などでの工事請負費の減です。

特別会計

国民健康保険事業

10万5千円を追加し、予算総額は6億2715万4千円です。

後期高齢者医療

32万1千円を追加し、予算総額は8052万8千円です。

介護保険

保険事業の予算総額は6億4899万8千円です。

診療所事業

706万1千円を減額し、予算総額は6135万5千円です。

へき地診療所事業

320万円を減額し、予算総額は5336万7千円です。

へき地歯科診療所事業

283万円を減額し、予算総額は3140万2千円です。

航空事業

予算総額は4733万7千円です。

条例の一部改正

○上関町表彰条例の一部改正
定例表彰の時期を改正

○上関町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正

労働基準法および人事院規則の改正に伴い時間外勤務時間の上限規制導入

○上関町介護保険条例の一部改正

介護保険法の規定により、令和3年度から令和5年度までの第1号被保険者の介護保険料を改正

○上関町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正
介護保険法の改正により改正

○上関町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正

介護保険法の改正により改正

○上関町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正

介護保険法の改正により改正

○上関町定住促進住宅設置及び管理条例の一部改正

若者定住促進住宅の払下げにより改正

規約の変更

○山口県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び共同処理する事務の構成団体の変更並びにこれに伴う規約の変更

認定

○町道の路線認定

町道惣津観音線道路改良工事による終点変更に伴う惣津観音支線1号の新規認定

○町道の路線認定（変更）

町道惣津観音線道路改良工事による終点変更に伴う変更認定

その他

○副町長の選任

松中副町長が退任するため、新たに橋本政和氏を副町長に選任



橋本 政和 氏

松中前副町長には永年にわたり、ご尽力を賜り有難うございました。

○上関町固定資産評価審査委員会委員の選任

固定資産評価審査委員会委員の任期が本年3月31日をもって満了となるため次の3名の方を選任する。

・ 木村 力 氏

・ 河村 陽市 氏

・ 松永 升之 氏

○上関町農業委員会委員の任命

農業委員会委員の任期が本年4月24日をもって満了となるため次の6名の方を任命する。

・ 川崎 茂昭 氏

・ 新升 久人 氏

・ 山田 建夫 氏

・ 河津 敏美 氏

・ 高松 秀義 氏

・ 沖田 浪子 氏

報告

○専決処分

・工事名

令和2年度室津（志田）漁港
機能保全工事

・変更前

7889万4千2百円

・変更後

8201万2千7百円

※大橋損傷により大型クレーンの移送が陸上から海上輸送に変更となったため
・契約の相手方

(株)浜田建設

代表取締役 濱田 憲昭



室津（志田）漁港

○土地開発公社の事業計画

公有地の取得、管理、処分に
538万9千円を計上

○第57期上関航運(有)の経営報告

(令和元年10月1日～令和2年
9月30日)

・決算状況および欠損金

売上高 2967万9千円

総費用 1億418万1千円

質疑

応答

山谷良数議員

町民税の滞納額が上がってきている。徴収できない方について調査を毎年されているのか。

立畠総務課長

高額滞納者は数名。全て財務調査をしているが、もうこれ以上取れないという状態。

山谷良数議員

不納欠損として落としていくことが増えないよう、十分考慮しながら徴収に当たっていただきたい。

山戸孝議員

海のまち診療所の収入が大幅に減額になった理由は。

岡崎高齢者保健福祉センター所長

新設による様子見や新型コロナウイルスによる受診控えがあった。また室津の医院の閉院から海のまち診療所の開院までの間に町外にかかりつけ医を持たれた方がかなりいることで、予測より患者数が伸びなかった。今後については検診関係や予防接種、往診などの数が伸びているので、より一層地元の利用していただくようにしていく。

山戸孝議員

今後、上関町を無医地区にしないためにも大切な施設。かかりつけ医が身近にいるのは町民にとっても利益になる。利用促進にしっかりと取り組んでいただきたい。

山谷良数議員

祝島の駐在員報酬を報償費に差し替えている点について、以前も質問したが、協議していききたい。

という答弁があった。その後どうなったか。

立畠総務課長

祝島自治会は今の形がいいというので今までできている。駐在員報酬として払うのが本筋だが、駐在員にしなければいけないとまでは踏み込めない。ただ毎回こういう補正がでるのはどうかというのは今後の課題である。

議員提出議案

上関町議会会議規則の一部を改正する規則の制定について

議員が活動しやすい環境整備の一環として、出産、育児、介護など議員として活動に配慮するため、欠席事由を整備するとともに、出産に係る産前・産後の欠席期間を規定するため。また、請願者の利便性の向上を図るため、請願者への押印の義務付けを見直し、署名又は記名押印に改めるため。

町政のここが聞きたい

一般質問

3月定例議会では5名の議員が
5件の質問をしました。



山戸 孝 議員

問
上関大橋の損傷、県は
誠実な対応を

答
県は積極的な対応を
している

質問

報道などで15年前に上関大橋長島側でも鋼材が破断していたことが明らかになったが、山口県は当時も昨年の大橋損傷時もそれを公表せず、上関町にも伝えていなかった。県は町に説明と謝罪をしたが、その内容と町長の受けとめは。県が事実を公表し、危機感を持つてその後の検査をしていれば、室津側の損傷はより早い段階で対応できた可能性もあるのでは。また昨年の大橋損傷により発生した町の負担は。県には誠実な対応をお願いしたい。



3月26日に規制解除された上関大橋

町長答弁

15年前の件について町から県に説明を求めた。県からは2月24日と26日に、町に報告しなかった理由の説明と、配慮が足りなかった旨の謝罪を受けた。私は謝罪は謝罪として受けとめ、上関大橋の復旧と今後の対応策に真摯に取り組むことをお願いした。室津側の損傷については専門的な知見も必要であり憶測で見解を述べるのは差し控えたい。財政措置は県にしていたいており、残りの部分は額が確定した時点で要請を行う考えだ。



清水 敏保 議員

問 地域共生社会の実現に向けて

答 町が一体となるまちづくりを目指す

質問

町は人口減少と同時に世帯数も減少し、今後は高齢者の一人暮らしの割合が急増する。今回、介護保険事業計画が策定されたが、何を重視した計画なのか。要介護者が住み慣れた地域で安心して生活するためには、地域住民と行政が協働し、地域共生社会を構築する必要があると考える。

また、保険料は今後どのように予測されるのか。

町長答弁

介護保険事業計画の策定については、「あたたかい地域の中で自分らしく輝く町上関」を基本理念に策定している。地域共生社会を構築するため、共に生きる共生社会の実現に向け、地域での自助・互助・共助・公助が連携して機能する体制の構築のためにも、議員や住民の協力が必要不可欠だ。介護保険料の今後の予測については、国の制度改正なども考慮しながら保険料を算出した結果、第7期の保険料の基準額は第7期と比較して月額700円減額し5500円になる。



久しぶりのお元気喫茶



山根 善夫 議員

問 一般廃棄物の処理 特に生ゴミの処理について

答 ごみの減量化に一層周知を行いたい

質問

生ゴミは生活するうえで毎日発生する。現在生ゴミは燃やせるゴミとして処理されている。処理対策として町の行っている生ゴミ処理器の助成制度がある。今後ゴミの減量、循環型社会の形成のためにもコンポストなどの有効活用を含めた検討を行政・町民を含めた多様な主体が関って取り組める案を考えることは価値のあることと思う。上関町として今後生ゴミの処理に対しどのような考えを持っているか。

町長答弁

一般廃棄物は可燃ゴミやガラスくず、タイルを除き資源化されている。生ゴミを堆肥化するコンポストは平成4年度から、電気を利用して乾燥させ処分する電気式ごみ処理機は平成13年から、上関町快適環境づくり推進協議会の下で購入者に費用の助成を行い利用の推奨をしている。家庭内から発生する生ゴミは各自コンポストなどで堆肥化し、利用することがごみの減量化につながると考え今後もこの事業を継続していきたい。畑などで堆肥を消化できない方は、水をよく切り可燃ゴミと一緒に処理されるようお願いしている。



畑に設置したコンポスト



山谷 良数 議員

問 原子力発電所立地に向けての所信を聞く

答 当時の選択は間違っていない

質問

町は原子力発電所立地により発展し安泰を願い取り組んできたが、福島原子力発電所の事故により工事は中断している。この十年間で少子高齢化はますます進み、町は限界集落と化している。そのような中、改めて原子力発電の新増設の話を、国の協議会で話し合うべきとの声があると聞くが、原子力発電所立地へ向けて町長の所信は。

町長答弁

福島原子力発電所の事故以降原子力財源の確保も見通しが立たない状態。町づくりの考え方は、大きく分けて二つある、住民の暮らしをより豊かにする。もう一つは将来に希望が持てる町にする。この10年間さまざまな町の整備をした。今現在原子力財源が活用できれば、町づくりは、もっとスピードが速まったと思う。原子力発電所誘致を契機とした町づくりを当時選択したことは間違っていない。今年示されるエネルギー基本計画を注視したい。



原子力発電所建設予定地（田ノ浦）



右田千賀子 議員

問 緊急通報・生活サポートシステムについて

答 いろいろな方法で周知していく

質問

上関町には高齢者などの生活支援サービスとして緊急通報・生活サポートシステムがある。申込みのあった各家庭に緊急通報装置を設置し、利用者は月額300円の負担で24時間365日の安心と安全の提供が受けられる。ボタンを押すだけでセンターにつながり、急に体調が悪くなったり家の中で転んで立てない時、センターが状況を判断して救急車の手配や遠方の家族に連絡を行う。高齢化が進んでいくとサポートサービスは重要であるが、町内では利用者が少ないのもっと周知をすべき。

町長答弁

町では、独り暮らしの高齢者や重度の障害をお持ちの方が日常生活で緊急事態に対応するために安否確認・相談・消防署への通報に関する専門のオペレーターが対応、上関町緊急通報システム事業を実施。令和3年1月末時点、32名の方が利用。町民の暮らしを守る政策を進める中で、独り暮らしの高齢者の見守り事業を実施している。緊急通報システム事業もその一つ。住み慣れた地域で、遠方の家族に安心していただけるよう活用する。広報・回覧・町のホームページや民生委員から住民の皆様説明していく。



緊急通報装置（サスケ）

議会活動報告（令和2年11月26日）（令和3年3月1日）

月 日	内 容（場所・出席者・参加者）
11月26日	例月出納検査（井原）
12月1日	第4回定例会本会議
12月3日	全員協議会
12月4日	産業厚生常任委員会（清水・山谷・井原・海下・山根・西） 総務文教常任委員会（右田・山戸・岩木・西・山村） 山口県町議会広報研修会（周防大島町：岩木・海下・井原・右田・山戸）
12月8日	第4回定例会本会議
12月9日	第4回定例会本会議
12月16日	議会運営委員会（海下・山根・井原・右田・山谷・西） 議会広報委員会（岩木・海下・井原・右田・山戸） 議会広報委員会（岩木・海下・井原・右田・山戸）
12月24日	例月出納検査（井原）
12月25日	柳井地区広域消防組合議会定例会（海下）
12月25日	柳井地区広域水道企業団議会定例会（清水）
1月6日	議会広報委員会（岩木・海下・井原・右田・山戸）
1月13日	議会広報委員会（岩木・海下・井原・右田・山戸）
1月18日	議会広報委員会（岩木・海下）
1月26日	例月出納検査（井原）
2月2日	国民健康保険運営協議会（海下・山根）
2月10日	柳井地区広域水道企業団議会定例会（清水）
2月12日	柳井地区広域消防組合議会定例会（海下）
2月17日	周東環境衛生組合議会定例会（右田）
2月18日	柳井地区広域消防組合議会監査（海下）
2月19日	熊毛郡町議会議長会定例会（西）
2月26日	上関町人権学習講座（西・岩木・井原・海下・右田・山戸） 例月出納検査（井原）
3月1日	議会運営委員会（海下・山根・井原・右田・山谷・西）

山口県町議会広報研修会

12月4日、周防大島町役場で県内5町の広報委員が、議会だよりの編集について各町の問題点を議題として意見交換をしました。それぞれの町の長所を参考に、今後の広報作成に結びつけることができる研修となりました。



県町議会広報研修（周防大島町）

要 望

・町経済の活性化に関する要望
上関町商工会
会長 濱田 憲昭

編 集 後 記

4月8日に、上関小学校・中学校、9日には、祝島小学校が5年ぶりの再開で入学式が行なわれました。

また、新しい生活様式になり2度目の新年度がスタートしました。子どもたちは、夢と希望で胸を膨らませていることでしょう。子どもは「地域の宝」です。地域ぐるみで子どもたちを見守っていききたいです。

議会広報聴 調査特別委員会

委員長	岩木 和美
副委員長	海下竜一郎
委員	井原 久治
委員	右田千賀子
委員	山戸 孝

次回定例会の初日は
6月8日（火）の予定です。

発行責任者／議会議長 西 哲夫

〒742-1402 山口県熊毛郡上関町大字長島 503

TEL 0820-62-0364 FAX 0820-62-0783

編集／議会広報広聴調査特別委員会

印刷所／中村印刷株式会社